

登別政策フォーラム事後報告
立教大学コミュニティ福祉学部 チームせんと
サテライトで照らす登別の明るい未来

【私たちの思考のプロセス】

私たちは、定住者増加を、転出者の現象と移住者の増加の2つの要素で構成されると考え、中でも移住者の増加に対してアプローチした。ふるさと回帰センターによると、移住者希望者の検討要素には、移住先の雇用状況・移住先のコミュニティの人間関係・生活基盤・都市基盤・アクセスの5点が挙げられるようだ。また、温泉都市はそれ自体が移住者を引き付ける要素となっていると分析する。

そのうえで登別を分析すると登別では上2つ以外は達成されており、それらを改善することで大幅な移住者の増加が見込まれる。そして移住者増加のためには雇用状況の改善+移住者コミュニティの創出の2点が必要だと考え、これらに対応する解決策を考えた。

【私たちの提案】

サテライトオフィス EN の機能の拡張。

現在行っている、企業研修プログラムを拡大改造し、下記に取り組む

- ①雇用状況の改善: 課題解決研修内容の強化・新規に雇用の創出
・事業化のプロセスに企業以外(全国学生、フリーランスのクリエイティブワーカー)の人を巻き込む
・課題解決提案事業の具体化
- ②移住者コミュニティの創出: サテライトオフィス EN を移住者コミュニティの拠点にする

【この政策がそれぞれのステークホルダーに与える影響・メリット】

- ①フリーランスのクリエイティブワーカー: 自分の技能のPR、そして企業との新事業の開拓ができる。それを通じて新たに拠点を登別へ移すことによる移住者増加が見込まれる
- ②学生: 計画を事業化するプロセスや起業、地域活性を現場で学ぶことができる。
- ③企業側: 研修を通じて社員の主体性が向上する。学生やフリーランスとの協同によって新たな視点(消費者の視点)を開発に取り入れることができる。
- ④移住者: 移住者同士の繋がりの構築と移住者と地域を結びつける

【事業計画】

この事業案では、登別を軸に活発的なコミュニティを創造する。長期目標として5年目までに既存移住者内の関係構築や、事業への協力者を探す。その後8年目までに移住希望者との交流、そして10年かけて軌道に乗ることを目指す。

2023.08.30

登別政策フォーラム2023年

サテライトで照らす登別の明るい未来

立教大学コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科：チームセント
山口恵里奈・武田彩・前原雅季・横張幹人・椿莉玖斗・長峯慧眞

目次

1. 私たちの思考のプロセス
 - 定住者増加のための仮説・定義づけ
 - 私たちの提案
2. プラン説明
 - 現状分析
 - 目指す姿と取り組み
3. それを与える影響
4. 事業計画

定住者増加の構成要素を分類！

移住者の増加

移住者が求める要素
Byふるさと回帰センター
副事務局長

移住者希望者の検討要素

- 移住先の雇用状況
- 移住先のコミュニティの人間関係
- 生活基盤
- 都市基盤
- アクセス

移住者の増加のアシストになる要素



豊かな温泉都市のイメージ

転出の防止

流出の原因

By 総務省 | 平成27年版 情報通信白書

希望する職種の雇用がない

私たちの分析する定住者増加における課題

雇用状況の改善

働きたい仕事とそこにある仕事の違い
移住者層が望む仕事を仮定・定義づけ

**仮説：クリエイティブな
働く場所を問わない仕事**

例：IT・インフルエンサー・クリエイター

+

移住者コミュニティの創出

移住者へのコーディネーション機能が欠落

仮説：移住者が孤立しがち

B y 地域おこし協力隊

= この2点の課題解決が必須

先行事例の研究：北海道登別市 サテライトオフィスEN



取組

- 専門学校
- レンタルオフィス・コワーキングスペースの開設
- 企業の研修プログラムの開催
- 運営設定の主に観光に関する課題から解決案を考察

まだ実現できていないこと

- 解決案が実行に移せていない
- 研修課題の分野の偏り(主に観光要素)

サテライトオフィスENの機能の拡張

雇用状況の改善

+ 1

課題解決研修内容の強化

+ New !

雇用の創出

- ①事業化のプロセスに企業以外
(学生、フリーランス)の人を巻き込む
- ②課題解決提案事業の具体化



様々な背景の人間と協同することで
事業アイデアや精度UP
より実状的な内容

移住者コミュニティ

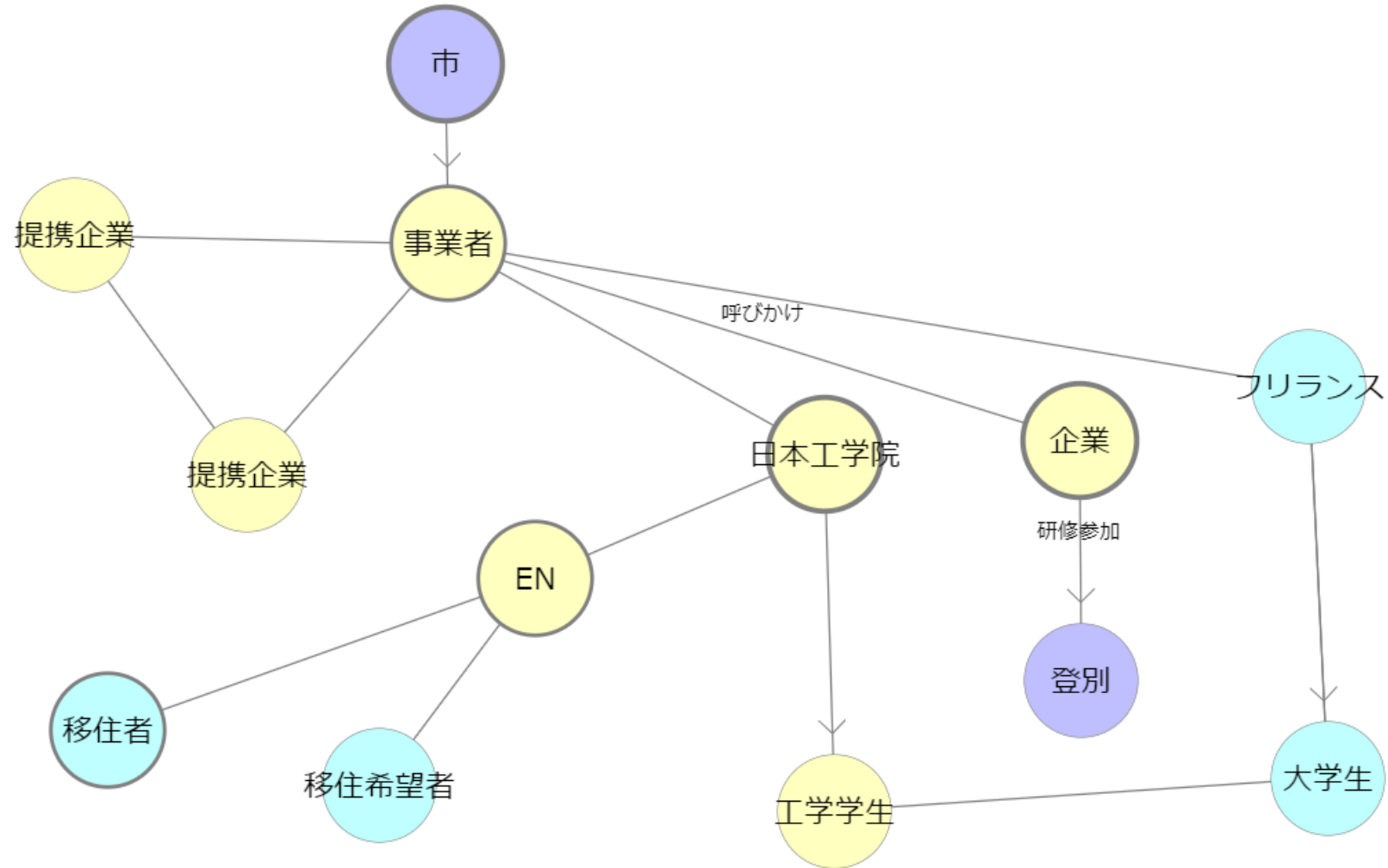
+ 1

コミュニティ機能の拡大

- ①相談→移住まで一貫した支援
- ②移住者同士を繋げる、関係を持つ



ステークホルダー



この政策がもたらすメリット



フリーランスの
クリエイティブワーカー

- ①自分の技能のPR
- ②企業との新事業の開拓

新しいフリーランスの
参入拠点を移す人もいるかも



学生

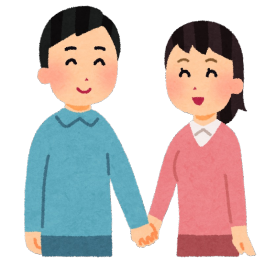
- ①お金Get
- ②経験
- ③繋がり

事業化のプロセス・起業・
地域活性の現場で学べる
貴重な体験



企業

- ★社会に求められている能力
- ①社員の主体性UP
- ②課題解決の手法
- ③学生の視点＝顧客の視点



移住者

- ①移住者同士の繋がり構築
- ②移住者と地域を結びつける

この政策案の目指す姿

想定する空間イメージ

- 人々が集い学び、働くを見つける場

メリット

- 安易な箱もの建設の防止
- 既存の仕組みの活用：ノウハウ保有・実現可能性UP

目指す姿

- 多様な人びとが生きいきと働き
- 登別の豊かな環境を生かしてのびのびと暮らす
- ワークライフの充実。



中長期的なロードマップ

登別を軸に空間を超越した活発コミュニティの創造



実際に学生が参画した研修プログラム

立教大学 コミュニティ福祉学部コミュニティ政策学科 御中

北海道うらほろ探究プログラム

十勝うらほろ楽舎×東武トップツアーズ協働開発
「未来を担う大学生や中高生が未来を描くサポートプログラム」

このプログラムは東武トップツアーズの独占販売です



東武トップツアーズ株式会社

Copyright© TOBU TOP TOURS CO., LTD. All Right Reserved.



旅行代理店

×

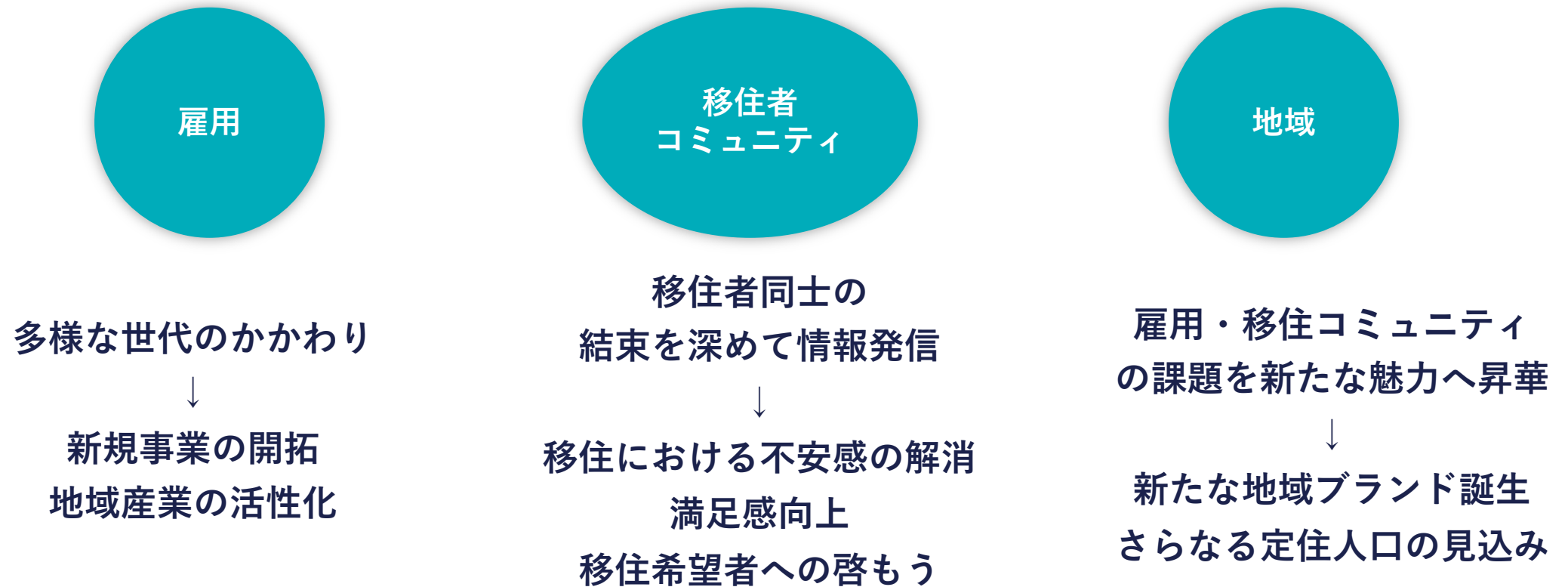
企業研修

×

学生

既に人気のプログラム！

本提案のポイント：まとめ



出典

総務省 | 平成27年版 情報通信白書 | 人口流出の背景 (soumu.go.jp)

ふるさと回帰センター 稲垣文彦・インタビュー